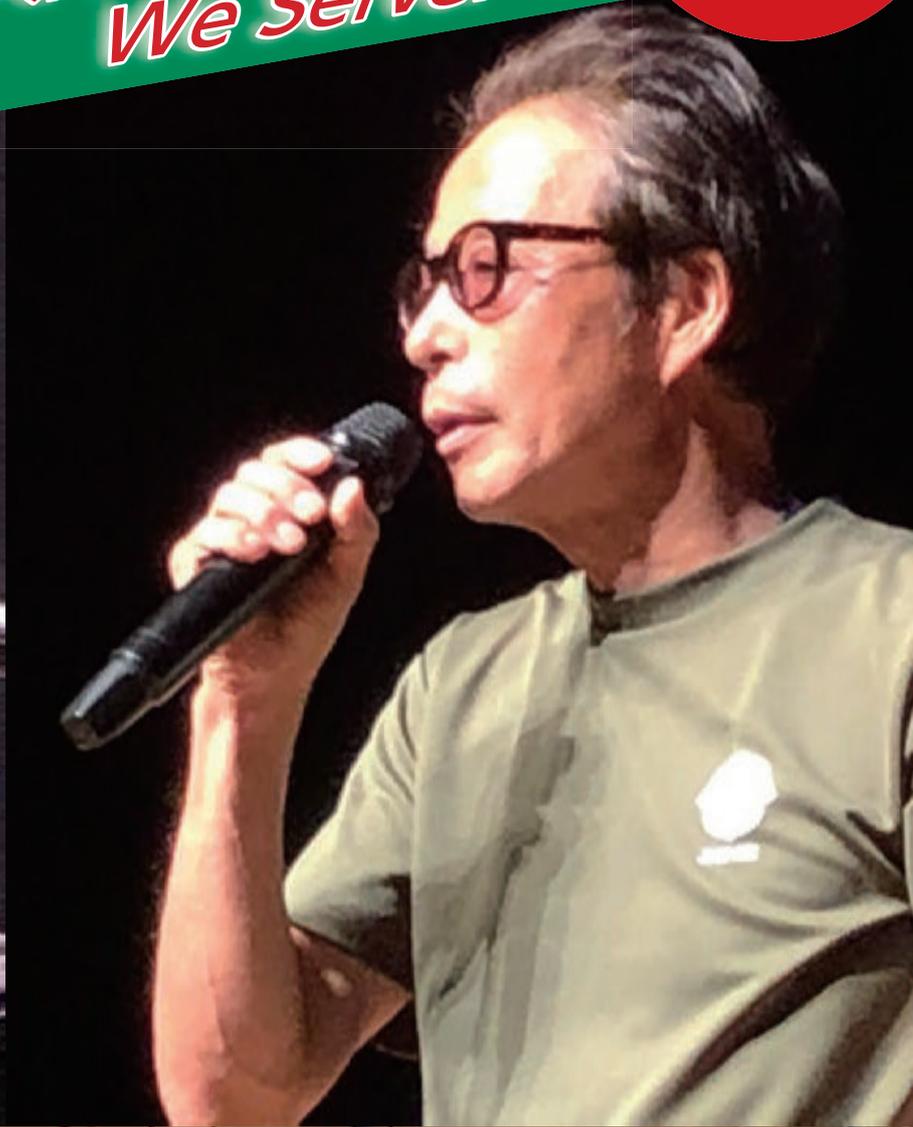




kashinoki

共同の意識を育み
We Serve!

会報No.49
2018-2019.6



Ibaraki Oak Lions Club

335-B 地区 6R1Z 茨木オーライオンズクラブ

この一年を顧みて

会長 田畑 收

今年度からは、国際協会の方針のもとに「クラブ組織の改定」がおこなわれ、当クラブにおきましても、2017年度までの組織から新しい組織に変わっての最初の年度であり、戸惑いもありましたが、皆様のご協力により、大過なく役を務めることが出来き、感謝を申し上げます。

クラブの運営は会長・幹事・会計で変わりませんが、奉仕に重点をおいた組織になり、GAT ファシリテーター（会長）・GLT（第1副会長）・GMT（会員委員長）・GST（奉仕委員長・第2副会長）が奉仕をするにあたっての主役となりました。又、ライオンズクラブでは、2017年で100周年を迎えたことから、更なる奉仕目標としてチャレンジ方針を立て、5つの主力奉仕活動を掲げられました。

その中で、会長重点事業として、5つの主力奉仕活動の一つであります環境対策として、「植樹」をしたいと考えておりました。

しかし、6/18の大阪北部地震及び7月初旬の西日本豪雨により、多くの方が被災されました。

我々は、奉仕を通じて「地元・地域を育む」ことが、地域に根ざした私たちライオンズクラブの第1の使命であると考え、「地元」・「地域」とは、まずは茨木市、そして大阪府であり、私たちの活動が茨木市や大阪府の発展に少しでも貢献できるようにしたいと思い、会長重点事業を「植樹」から「震災支援」に変更致しました。

その中で、理事会承認設置委員会委員長より支援金を募り

たくご案内をさせていただいたところ、クラブ員の皆様にご賛同いただき、誠に感謝申し上げます。

又、「会員増強」は在り来りの目標ですが、クラブ運営を続けていく上で、一番大切なことです。

正会員1名、賛助会員6名の増員（この原稿項を書いている5月の時点での予測）ができ、GMT（会員委員長）及びスポンサーには感謝申し上げます。

本年度に、元終身・優待会員L山田良一（9/20）・元終身会員L吉田綱夫（12/16）、元優待会員の近藤茂（3/26）及び賛助会員のL橋本健二（6/3）が亡くなり、心から、お悔やみ申し上げます。

又、優待会員L加藤秀治が退会されたこと非常に残念に思っています。

おわりに、幹事・会計を始め皆様方にご協力を頂き、感謝申し上げます。



この一年を顧みて

第一副会長 杉本 憲一

今年度は、第1副会長という大役を任せていただきました。前年の第2副会長は奉仕事業の委員長という立場でしたが、今年度はほぼ次年度の会長への準備と勉強の一年でした。現会長・幹事の行動や言動を注視して沢山のことを学ばせていただきました。その中でも田畑会長の色々な場面での挨拶が私にとっては非常に良い勉強になりました。例会や委員会、奉仕活動等の挨拶では、そこに係っている方すべてに感謝の

会長を何とか努めていこうという矢先に、大阪府北部地震があり仕事も心も落ち着かぬ間に、7月の新年度を迎えました。

また9月の台風21号が追い打ちをかけるように地元茨木も襲い、災害の恐ろしさ・人間の無力さを身をもって体感した一年だったように思います。

第二副会長兼奉仕委員長として4つの委員会を受け持つこととなり、戸惑っていましたが会長、幹事をはじめ、各副委員長の方々と各委員会メンバーのお力で無事すべての事業が成功裏に終わることができ感謝いたしております。一年間本当に有難うございました。



言葉を述べることから始めるという気配りがとても印象的でした。まずは皆さんが集まっていたこと、そしてその前から色々な下準備をさせていただいている方がいること等、その言葉を述べなければ誰も気づかないことを気づかせてくれるという、基本的なことでありとても大切なことだと思います。常に感謝の気持ちを持って話しをするということは、常日頃からよく全体を見て人の考えや行動を見ている証しであると思います。

次年度は私も感謝の気持ちを忘れることなく、会員皆様から色々なことを吸収してさらに成長していけるように励んでいきたいと思います。この一年間有難うございました。

この一年を顧みて

第二副会長・奉仕委員長 GST 脇澤 元

今年度から組織編成が変わり、戸惑いと不安の中、第二副

会計として

仲 猛 夫

田畑会長、牧田幹事のもと、会計をさせていただきました。副会計の加藤さんには理事会欠席の時を含め、多くのご指摘、ご指導を頂きました。ありがとうございました。

平成最後の会長 小畑は常に笑顔で飄々として、たまに間違える挨拶も楽しく聞かせてもらいました。後半になるほど少し長めになってきました。

また、牧田幹事は几帳面で、書類も予定も連絡も完ぺきにこなしました。多くのエネルギーをライオンズ幹事につぎ込んでいただきました。これからのご活躍に期待します。

私は1年間会計を預かりましたが、事務局の宮城さんが会計処理を卒なくこなしていただきましたので、大いに助かりました。ありがとうございました。

今年は、例会が台風の影響で1回中止になり、その分ドネー



ションが集まりませんでした。ドネーションの多寡は会員数と出席率にかかってきます。来年度は、例会の会場も変わり、「片桐」になります。茨木の中心商店街ですので、出席率も良くなり、また、新しいメンバーも増えることと楽しみにしています。一年間楽しくライオンズライフを送れましたことに感謝。

「1年を振り返り」

幹事 牧田智聡

本年度は、幹事を仰せつかりました。今期は、組織が大きく変わり横文字の役職が増え、ゾーン・チェアパーソン（L西川）が当クラブから輩出され、4クラブ合同例会（茨木ローズライオンズクラブに交代）、9クラブ合同例会のホスト役、従来事業、などを考えると、私の様な若輩者が幹事という



職を全う出来るのか不安で仕方ありませんでした。準備理事会などで7月1日からスタートするため会議、審議などを繰り返し、クラブ員の皆様にいろいろと教えて頂き何とかスタートを切る事が出来ました。

会長運営方針「共同の意識を育む運営及び事業 会員増強活動 6RIZ ゾーン・チェアパーソン支援 災害復興支援 他クラブとの交流」事業計画「茨木フェスティバル 国際平和ポスター出展 献血奉仕 茨木市長杯少年少女将棋大会 YCE 青少年派遣 レインボーサークル支援」そして「楽しい例会」を無事に終える事ができました。それは、クラブ役員、各委員長、クラブ員皆様のご尽力の賜物だと実感しております。

何も分からず幹事職を致し田畑会長初め、クラブ員の皆様、事務局には1年間大変ご迷惑をお掛けしました事深くお詫び申し上げます。また、ライオンズクラブの事をご教示下さり多大なご協力をしていただきました事に深く感謝申し上げます。この経験を活かし次に繋げて行きたいと思っております。

2018-19年度この一年を顧みて

前会長 田中雅之

今年も気が付けば新緑が目にあざやかに映る季節となりました。田畑会長、牧田幹事をはじめ執行部の皆様の責任ある行動により今期も無事に一年の事業を終えようとしております。

思えば前会長職として震災で始まった一年でした。会長重点事業を変更して茨木市へ震災支援金を集める活動へ急遽変更となり実行委員長を務めさせて頂きました。メンバーの皆様も被災者にも関わらず進んで支援金に協力頂きました。

また地区からの依頼の100\$献金にも正会委員全員(100%)快くして頂きました事にメンバーの素晴らしい気持ちに感銘を受けました、12月には「YOUは何しに日



本へ」でマスコミにも取り上げられたフェインランドより本物のサンタクロースを呼ぶ企画の実行を行いました、これは青少年育成委員会のボーリング大会の代わりに各施設へサンタが訪問してサプライズをして頂きました。

そして前会長の大役として次年度の役員・理事の指名をする役目を頂きました、指名委員会として今年は礼を尽くし5役の指名には必ず訪問して依頼する事に努めました、また3年後(40周年)の組織を見据えて指名活動にあたりましたが、なかなか困難な事の連続で一時は頭を冷やしに仕事のついでに東京まで行き気分を変えて東京から次年度の組織をお願いした次第です。

崖っぷちの状態で次年度組織を創り上げる事が出来たのは、これもメンバーの皆様のライオンズへの理解と人との繋がりのおかげが目く出来たクラブであるからだと思えます本当に有難うございました。

次年度が動き出したこの頃は既にラフランス(洋梨)状態で皆の活動を草陰から拝見する気分ではありますが、次年度は地区のMC委員会への出向が決まりました。ここでは素晴らしい出会いがあると信じて一年お勤めして参ります。地区とクラブの架け橋となるように情報を持ち帰り、お伝え出来ればと思えます。

この1年間メンバーのみなさんに大変な御協力を頂き、貴重な体験をさせてもらい心から感謝申し上げます。

最後に次期執行部のご活躍を祈念してお礼の挨拶とさせていただきます。

年次報告

R1Zゾーン・チェアパーソン 西川 明

本年度ゾーン・チェアパーソンを拝命いたしました。今までクラブ内での活動が主で当初は戸惑いもありました。

しかし、335 B地区の6 R 1 Zの素晴らしいクラブに恵まれて改めてライオンズの奥の深さ、懐の深さを感じました。

吉村ガバナーの「全ては「We Serve」の為に変革にチャレンジ、そして前へ！」のスローガンのもと役割としてはそのガバナー方針をゾーンに伝えていくことです。その年度が始まる前後からより地震・豪雨・台風など自然災害が多発し度重なる合同職務訪問例会の中止、台風被害の対応などからのスタートでした。

それでも個性豊かな9クラブが柔軟に対応しながら力を発揮し充実したアクティビティを計画・開催、ライオン活動に邁進されたことに感動し感謝しています。

我クラブにおいても、若干の軌道修正をしながら、増強・アクティビティ・LCIF キャンペーン100の100%の取り組みなど、ZCとして誇れる出身クラブの現状に大変励まされて一年間過ごすことができました。(これが無いとつらいよね…)

さらに、ガバナー方針であるLCIFフォーワードをテーマに「糖尿病セミナー」を6R広域合同で行い多くの受益者数をカウントすることができたことも、今後の自クラブ事業に



つながるアクティビティになったと感じています。

335 B地区役員、各クラブ役員の多くの方々と交流させて



いただき多くを学ばせていただいた一年間でしたが、また新たな一年が始まります。L 田中雅之が新たに地区委員として出向されますので、クラブ活動と共に地区の活動にも目を向けていき、自分ができることを続けていきたいと、今は思っています。今後ともよろしくお願ひします。

「この一年を顧みて」

会員委員長 原田 強

本年度、会員委員長をさせて頂いて思ったのは会員増強につながるの、やはり自分自身が『ライオンズを知り・楽しみ・行動』していれば仲間がほしい、声を掛けたいとなげに身体が動くということに気づきました、アスク1につなげ



るにもやはり『知り・楽しみ・行動』が必要だと思います。

正会員の増強に次年度も協力していきたいです。

良い経験をありがとうございました。

ライオンズ役員 2019 年度感想 一年振り返って

指導力・接待・出席・大会委員会
委員長 掛谷明宏

まず「出席率を何とか上げること」を目標。

例会出席は会員にとって情報の交換の場であり、仲間意識を高める場所であり、何より奉仕活動の原点であるドネーションが集まるところであります。

冒頭に申し上げた例会出席向上を第一目標にしました。お陰様で第一例会、第二例会出席は前年同月とも上回る事が出来ました。9月の9ロム合同例会で88%の出席率は当クラブが一番。嬉しい事でした。

惜しいことは100%出席をめざした2月第二例会一人の欠席で達成出来なかったことです。

次に内規の食品ゼロ削減の先取り、無断欠席の3,000円随分少なくなりました。欠席1,000円も厳正に対処しました。出席率は正会員の出席を基本にしました。

いろいろ皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後に長老の独り言

- 1、家族の理解を得るため行事等には可能な限り家族同伴賑やかな行事。
- 2、健康志向の時代。例会時の休憩時間も禁煙。
- 3、例会、理事会等会議は開会5分前着席。定時開会。会議の基本。

プログラム・コーディネーターについて

プログラム・コーディネーター 西田英雄

ライオンズのプログラム・コーディネーターの拝命を受けて、新しい単語で深い意味は解らないままに、ライオンズ必



携に記載されている事項には、主に例会を楽しく進めるために、会員が魅力のある例会に出席してもらえらることと解釈し、計画委員会を複数回開催して一年経過した。

今年度の例会は、現行の例会場が通常ゆったりとした飲みニケーションが執れず一面型式を重んじた例会になっている。例会開催ごとに欠席者も目立つことから、計画委員長を主軸にして計画委員会の各委員の考案事項を取りまとめ、従来の形式から逸脱した形にした。

11月に町並み電車遊覧例会と称して、阿倍野近鉄駅前から堺浜寺間の路面電車、阪堺電車（チンチン電車）貸し切り車内では、車窓からの町並みを見ながら、ゲストも迎えて会話・クイズ・ミニカラオケなど、2時間に渡る終着駅から、あべのハルカスを登頂見学して解散。

茨木ローズLC合同例会、クリスマス家族例会、すき焼き例会等は特別なアトラクションも行わずメンバー相互の会話と絆を重視した例会を実施し、費用も当初予算より減額になりましたが計画委員会各委員の協力により楽しい例会が出来たこと、例会参加メンバーに感謝いたします。

茨木市長杯少年少女将棋大会を担当して

青少年育成委員会副委員長 岸中雅之

当クラブの伝統ある本事業も今回で21回を迎えることと



なりました。昨年は藤井聡太氏の活躍により、将棋が脚光を浴びたこともあり参加者も増えたのですが、昨年より減の83名の参加となりました。

会場の確保、茨木市長、教育委員会、日本将棋連盟の後援、大会出席、表彰状の依頼、ポスター作成、将棋教室のアキノクラブ、ポポへのポスター掲示、参加募集協力依頼、賞品、景品の手配等大変ではありましたが、この事業を立ち上げられた先輩方のご苦勞や、継続事業として経験を積み重ねることでスムーズな運営ができるようになっていくように感じました。

参加者も真剣に対局を楽しみ、勝った喜び、負ける悔しさを経験することで成長する機会となることと思います。将棋は負けた方が「負けました」と頭を下げる潔さが礼節を重ん

じる日本の伝統、武士道に通じるものがあるように思いまし



た。準備、後片付け等、皆様のご協力ありがとうございました。

この一年を顧みて

献血奉仕副委員長 辻田宗一

この一年間献血奉仕副委員長を務めさせていただきました。

献血奉仕は、ライオンズクラブの重要事業の一つであります。入会時の献血奉仕委員長から参加要請を受け、当初は義務的に参加していましたが、次第に献血の重要性、必要性に目覚め自ら献血もするようになりました。

また、本事業はメンバー参加協力なしには成り立ちません。メンバーの献血も増加傾向にあり、今後とも献血奉仕活動が継続できるようメンバー各位のご協力をお願いして、この一年間のお礼とさせていただきます。感謝！！



2年目となり

ライオン・テーマー L田中篤士

茨木オークライオンズに入り2年目となり、テーマという役割を与えていただき右も左もわからないまま何となく始めた役職でしたが、2週間に1度皆様のお名前を拝見し、席次を決めさせていただきました。

牧田幹事から「新人はここからやから頼むで」と言われたことの理由が理解できました。名前を覚えたことにより、お声がけする時にスッとお名前が出るようになり、そのおかげで先輩方には良くしていただきました。

そして、事務局の宮城さんを送迎する際に、ライオンズについて分からないことなど、色々教えて貰うにはとてもいい時間でした。

次年度もがんばりますので宜しくお願い致します。

1年の振り返り

MC委員長 山本 悠介

まる前に「国際平和ポスターコンテスト」の準備が始まります。今回の平和ポスター展は先に発生した大阪北部震災や台風21号の被害により授業数の短縮等があり、不参加校もあったので市内4クラブ全体としても少なくなりました。ただ、子供たちの作品を見ると、一昨年の北朝鮮ミサイル問題の時の様子（兵器や戦争の絵）とは異なり、自然との調和や世界との友愛をモチーフとした絵が多く見られたように感じます。

またクラブPRとしての役目では事業活動風景やみなさんのいい笑顔の写真をFace bookに掲載しています。他クラブメンバーと交流した際にも話題になるので、まだ参加されていないメンバーの方がいらっしゃいましたら是非参加して頂ければと思います。



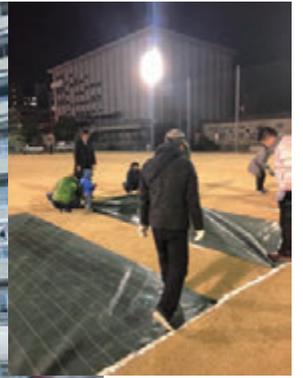


第8回 ビッグバンドJAZZフェスタin茨木



茨木フェスティバル出店 「居酒屋かしの木」





柏オークLCチャーターナイト35周年記念式典

ローズ・オーク合同親睦旅行



第21回 茨木市長杯少年少女将棋大会

主催 茨木オーライオンズクラブ 後援 茨木市 茨木市教育委員会 (※社) 日本将棋連盟



平和ポスター展



レインボーサークルカラオケ大会



ガバナー公式訪問 9クラブ合同例会



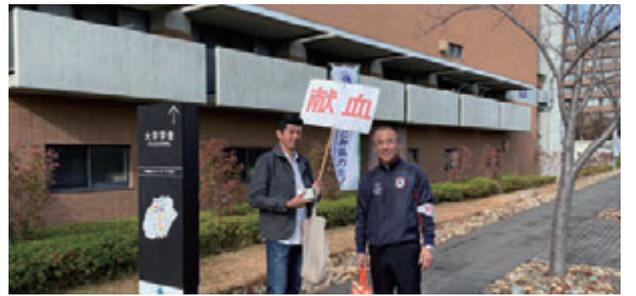




チンチン電車例会



献血奉仕活動



335B地区ライオンズ慰霊祭



中 隆 雄	和泉中央L.C.	2018年12月12日
吉田 剛 夫	茨木オークL.C.	2018年12月16日
栗 岡 幸 雄	大阪阿倍野L.C.	2018年12月21日
明 原 全 孝	伊都高野山L.C.	2018年12月27日
竹 内 由 美 子	茨木ハーモニーL.C.	2018年12月27日
山 本 芳 文		

大 津 L.C.	2018年9月1日	77才
方 L.C.	2018年9月7日	80才
中 南 L.C.	2018年9月11日	85才
茨木オークL.C.	2018年9月13日	74才
井田中央L.C.	2018年9月20日	89才
	2018年9月26日	

最終例会





また余り目まで
ほほえみ つかれむ
こころは 多岐多岐
高らかに いたたき
ライオンズ サレヌ
賢者なる 衆の
また余り目まで 健やかに



発行:茨木オーライオンズクラブ

編集:MC委員会

〒567-0882 大阪府茨木市元町5-23

Tel.072-626-1431 Fax.072-625-7821

info@ibaraki-oak-lc.com

茨木オーライオンズクラブ

<http://www.ibaraki-oak-lc.com>